

第1回村上市子ども・子育て会議 会議録

会議名	第1回村上市子ども・子育て会議
日時	平成29年8月28日（月）午後2時00分～午後4時24分
会場	村上市役所本庁4階大会議室
出席者	委員：13人（寶井委員、舩山委員、神田委員、松本委員、大宅委員、遠山委員、笠井委員、加藤委員、富樫委員、大滝委員、本間委員、鈴木委員、仲委員）
	欠席委員：能登谷委員、楠田委員
	事務局：加藤福祉課長、平山福祉課課長補佐、中村保健医療課課長補佐、太田生涯学習課課長補佐、遠山荒川支所地域振興課課長補佐、加藤神林支所地域振興課課長補佐、中嶋朝日支所地域振興課課長補佐、榎本学校教育課教育総務室副参事、永田福祉課子育て支援室係長、伊藤福祉課子育て支援室係長

会議録	
1	<p>開 会</p> <p>加藤福祉課長から配布資料の確認及び配布資料の訂正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 7 議事（3）「平成27年度、平成28年度における『村上市次世代育成行動計画』の実績報告及び今後の方向について」を「平成27年度、平成28年度における『村上市次世育成支援行動計画』の実績報告及び今後の方向について」に訂正 ・配布資料一覧 資料7「子ども・子育て支援会議スケジュール（案）」を「子ども・子育て会議スケジュール（案）」に訂正 ・資料7「子ども・子育て支援会議スケジュール（案）」を「子ども・子育て会議スケジュール（案）」に訂正
2	福祉課長挨拶
3	委嘱状の交付
4	村上市子ども・子育て会議委員及び職員紹介
5	<p>正副委員長の選出</p> <p>委員長 新潟青陵大学短期大学部幼児教育学科准教授 仲 真人 氏</p> <p>副委員長 医療法人佐藤医院 介護老人保健施設杏園内託児所 事務次長 富樫 恵子 氏</p>
6	<p>正副委員長挨拶</p> <p>委員長：皆様のご意見を頂きまして、今回の会議を実り多いものにしたと思います。どうぞよろしくをお願いします。</p> <p>副委員長：よろしくをお願いします。</p>

7 議 事

委員長：日程7の議事に入ります。本日の出席委員は13名です。会議条例第6条第2項の規定により委員の半数以上が出席しておりますので、本会議が成立していることを報告いたします。

(1)「会議の公開及び会議録に関する取扱いについて」

(事務局から説明)

委員長：基本、公開ということではございますが、差し支え等がございましたら委員の皆様からご発言を頂いて決定したいと思います。

(「異議なし」の声あり)

委員長：原則、会議の公開、会議録の公表ということで進めさせていただきたいと思います。

(2)「平成27年度、平成28年度における『村上市子ども・子育て支援事業計画』の実績報告について」

(事務局から説明)

委員長：子ども・子育て支援事業計画の内容につきまして、過去2年間の教育・保育施設の充実及び地域子ども・子育て支援事業の充実の実績について、主に量的な面について推移を報告していただきました。先ほどの認定区分のこともありまして、分かりにくい部分もあったかもしれません。委員の皆様、言葉が分からなかった、もう少し説明して欲しいといった形で、補足の説明なども求めたいと思いますので、何かございましたらお願いします。

委 員：待機児童の状況はどのようになっていますか。

永田福祉課係長：9月入園の調整が終わったところですが、村上地区が10名ほど、荒川地区が2名ほどいる状況です。主に0歳児です。

委 員：産休明けで預けたいけれども、保育士の人員が整っていないので受け入れませんよという状況なのでしょうか。

永田福祉課係長：ほとんどが育休明けの保護者の方です。4月から今までは育休明けの方も空きのある保育園に入れることができましたが、現在の保育士の数では入れられる定員一杯になっています。保育士が増えれば0歳児が入れられる保育園は何か所かあります。待機児童は0歳児が一番多く、入れない場合にはお母さんの方で可能であれば育休を延ばして対応をしている方もいます。

委 員：預かってもらって働きたいけど、預かってもらえないから働けないという状況なんですね。

永田福祉課係長：そうです。

委 員：7月からあらかわ病児保育センターが開所していますが、利用状況を教えてもらえますでしょうか。

加藤福祉課長：8月1日現在では70名ちょっとの登録者がいます。今現在、80名位にはなっているといます。7月中の利用につきましては20日間の開所で16日、33名の利用がありました。

委 員：利用している方の地域、地区を教えてください。

平山福祉課課長補佐：関川村の児童についても利用可能としていますが、7月には関川村の児童の利用もありました。荒川、神林、村上、朝日地区でも1、2名の利用があったかと思います。村上地区の利用が多かったかと思います。

委員長：子ども・子育て支援事業計画の第5章、第6章について、主に量的な部分から実績報告をしていただきました。この計画の進捗状況について私たちがそれを総括する、そして今後に向けて検討するという役割になっている訳ですけれども、サービスを提供する行政側から2か年の実績について総括的な、行政サイドから見た2年間の総括的な評価を簡単に述べていただければ、今後の議論がし易いかと思いますがいかがでしょうか。量的な推移を伺っても、我々がどう評価すればいいのか戸惑うところがあります。サービスを提供する行政の側から、これはうまく行っている、ここは達成できた、でも待機児童は実は、と言ったようなところで、委員が評価すべき視点が定まればよいような気がしますので簡単な評価を述べていただけるとありがたいのですが。

加藤福祉課長：総括的な評価であります。実績を報告する中でコメントもさせていただきました。量の見込みについては次回お願いをするということで、こういう実績があって、それを評価して見込みの数値を出すことを考えていました。今回は皆様にこういった状況であるということをご報告申し上げ、次回の中で、実績に基づいて我々の考え方を示していきたいと考えていました。

委員：3号認定の子どもさんが計画の倍になっています。これから見直しですよ、ではなくて緊急的にどうしようということを検討されなかったのでしょうか。それだけニーズがあるということで、見直しをしてどっこいしょ、という形ではなくて住民ニーズに応えるために緊急的に手を打つということはないのでしょうか。

加藤福祉課長：3歳未満児のニーズが増えてきているということがございましたので、平成28年度に山辺里保育園の増改築を行いました。

委員長：なにか不明な点、確認したい点はございますでしょうか。特にないようでしたら次の議事に入って行きたいと思っておりますけれどもよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

(3)「平成27年度・平成28年度における『村上市次世代育成支援行動計画』の実績報告及び今後の方向について」

（事務局から説明）

委員長：平成27年度、平成28年度における村上市次世代育成支援行動計画の実績報告及び今後の方向について事務局の方からいただきました。大変多岐にわたる事業について触れていただき、その中で継続ないしは廃止ということでしたが、委員の皆様の中にも当該地域の委員の皆様もいらっしゃいますし、小学校就学以上のお子さんの関わるPTA協議会の会長の委員の方、校長会の会長の委員の方もいらっしゃいます。評価に関わることについては次回改めて、今後の見通しも含めてご報告いただくわけですけれども、今回、実績報告の中で委員の皆様の中で事実確認をしたい

こと、追加で求めたいこと等がありましたらお願いします。

委員：10番の保育園施設整備事業についてお尋ねします。荒川地区の保育園の統合につきましては記載がありましたけれども、地域の新聞で村上地区の保育園につきましても統合の計画があるようなことを読ませていただきました。それにつきまして、現在のどのような状況にあるのか、進捗状況をご説明いただきしたいと思います。

平山福祉課課長補佐：村上地区の保育園の統合につきまして、平成28年度に村上市保育園等施設整備計画を策定いたしました。その中で、村上地区の3園、第一保育園、第二保育園、山居町保育園になりますけれども、施設の老朽化が著しいということもございまして、この3園を統合して新しい保育園を造るべきではないかということで取り組みをしているところでございますけれども、実際、具体的にどこにという段階ではございませんで、3園統合となりますと、面積的にも広いですし、3園すべて村上地区の中心ということもございまして、どの辺にどのくらいの面積が求められるのかということを含めて検討しているところでございます。

委員：地区についても未定だということよろしいでしょうか。

加藤福祉課長：平成33年度までの5か年に計画になっていますので、この間に設置する場所等を選定して皆様にお示しできればと思っています。どのくらいの面積が必要なかを内部で検討しているところでございます。

委員長：保育園の統合につきましては、保護者の方の注目の集まるところでございますけれども、本会の中でも継続的に報告事項に上ってくることはありますか。

加藤福祉課長：この会議の中でということは考えておりませんでした。

委員：それだけの広い土地を確保する必要があるということで、どこかの建物がなくなる予定があるんでしょう。大体の想像はつきますけれども。

委員：35番、荒川地区については指定管理のためデータなし、となっているのはうまくないんじゃないですか。子育て支援センターの事業としてではないからということでしょうか。

中村保健医療課課長補佐：各地区でやっているということは確認はしているが、実際にいつ、どうしたかということまで確認をしていませんでした。ただ食育推進はしているということで確認しています。

委員：指定管理は丸投げ状態ではなくて、あくまでも市の事業としてやっているわけですから、その辺を把握していただきたいと思います。

中村保健医療課課長補佐：次回報告したいと思います。

委員：63番、学校支援地域本部事業を活用した地域との連携、1中学校区2取組程度となっているが、なんの取り組みをやっていますか。

榎本学校教育課副参事：実施報告会の年1回はオープンセッションを想定しての1回となります。1中学校区2取組程度というのは、各中学校区によって、小学校と一緒に挨拶運動をやったり、色々

な子どもを考える会だとか、多岐にわたった取り組みを数えてという風なことになっております。

委員：実際やっていることは、この何文字に表されるような内容じゃなくて、すごくたくさんやっているじゃないですか。1中学校区2取組以上というのは、地域の人に関わって、何十個の事業をやっているわけですよ。これだけでは読み取れないので、やっている取り組みを個数にするとか、関わった地域の人たちの延べ人数にするとか、そういう形にしてもらった方が実態が見えるんじゃないかな。担当課として表現をもっとボリューム感を持って出してもらえればと思います。

榎本学校教育課副参事：次回までに表記の仕方を考えて提示したいと思います。

委員：事業番号9番の休日保育事業、平成27年度であらかわ保育園で35件、平成28年度で85件となっています。公立保育園の方でも希望があると思いますが、具体的にこれから進めていくような方向にはあるのでしょうか。

永田福祉課係長：休日保育を実施するということになるとその分職員が出なければなりませんので、職員の体制が整わない今の状況では休日保育ができますとは言えない状況です。

委員：以前、会議の中で公立の保育園を指定管理者制度に変えていくような話をお聞きしたかと思いますが。

加藤福祉課長：昨年、村上市保育園等施設整備検討委員会の中で、統合保育園の建設の際には指定管理も検討していかなければならないというようなことで施設整備計画には載っております。

委員：要望とかでもよろしいでしょうか。

委員長：この計画の中にない内容でも要望を出してもいいのかというご質問ですが。

加藤福祉課長：お話していただければと思います。

委員：学校のことに関して2点あります。1点目ですが、学校の施設ですが、私たちが子どもの頃に比べて夏場が非常に高温になっています。エアコンの設置を検討していただければと思います。エアコンが設置されている学校につきましては、ない学校よりも学力が向上しているというような統計もあるようでございます。実際に村上中等教育学校はPTAで会費を積み立てられてエアコンが設置されておりますし、村上高等学校につきましてもガス式のエアコンが設置されていると伺いました。村上市内の小中学校におきましても、エアコンを設置していただけるようご検討をお願いします。2点目、小中学校のホームページの開設です。ほとんどの学校についてホームページがあると思いますが、開設されていない学校がありますので、どのような行事があるのか、出席停止の証明書をダウンロードを行うのにホームページがあった方が非常に便利だと思いますので、ない学校につきましてもホームページの開設をお願いしたいと思います。

榎本学校教育課副参事：持ち帰って話をしていきたいと思います。

委員：19番、児童遊園地遊具等整備事業と市の総合計画の29ページの3番、子育て応援する環境づくりを見ていただいて、児童遊園地遊具等設置整備事業は、前にもだいぶ問題になったんですけども、こういった補助事業では使わないよということで平成27年度1件、平成28年度0件、

継続と、0件で継続というのは非常に悲しいことです。そこで総合計画では舵を切りました。「子どもが安全に遊べる場所や親子が集える場所作りを進めます」とはっきり明記してもらったんですよ。ですから、こちらの見直しに関しても、きちんと舵を取り直して、補助事業で0件というのは非常に悲しい話なので、こんな補助事業ならやらない方がいい。市の総合計画も舵を切り替えて、そういうことにしたわけです。住民の皆さんはそれを欲しがっているんですよ。特に冬場の遊び場。親子で遊べる。新発田は駅前に立派なのことができました。村上からも結構行ってるんですよ。そういう状況も勘案してもらって、折角の見直しなんですから、こういうのをどかっといれましょう。

加藤福祉課長：統合で使わなくなる校舎があるわけですがけれども、利活用について庁内で検討しております。委員おっしゃるとおり子どもが安全に遊べる場所を作って行きたいということで検討していきたいと考えています。

委員長：これからの検討事項に係る部分でもご意見が出てまいりました。今回の議事まだ続いておりますので、そろそろ特にご質問、確認の要望等ありませんでしたら、4番目に移りたいと思います。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

（4）「平成30年度、平成31年度における『量の見込み』の基本的な考え方について」

（事務局から説明）

委員長：平成30年度、31年度における量に見込みについて基本的な考え方、算出方法について報告していただきました。実際の見込み数については次回資料が配布されると、公表されるということとございました。委員の皆様、何か確認したいこと、質問したいこと等がございましたらお願いいたします。

委員：5-2（2）時間外保育事業、量の見込みはあっても実際はやらないということですか。

永田福祉課係長：あらかわ保育園以外はこの事業には該当しません。荒川地区について量の見直しをします。計画策定時の延長時間が18時以降の保育に関しての量の見込みを立てていました。現在、制度が変わって、あらかわ保育園以外は午前7時半から午後6時半までの保育時間を超えての時間外はしておりません。荒川地区につきましては量の見直しをしていきたいと考えています。

委員：あらかわ保育園は朝何時から夜何時まで預かっていますか。

永田福祉課係長：朝7時から夜7時まで預かっています。

委員長：公立の保育園では実施をしていないということですね。

永田福祉課係長：はい。

委員長：具体的な今後の見通しについては次回、数字が出てくるわけですが、保護者の立場から確認したいこと等がございましたらお願いいたします。今後の量の見込みについて、実際の数字が出てきてから改めて検討したいと思います。議事の4番目については以上でよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

(5) 「子ども・子育て会議スケジュールについて」

(事務局から説明)

委員長：この子ども・子育て会議のスケジュールは3回の会、あと2回の中で量の見込みを含めて、今後、計画の評価、検討等を行っていくということでございます。ご意見等がございましたらお願いします。事務局案のとおり今後の会議を進めていくこととしましてよろしゅうございますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

8 その他

委員長：事務局から「その他」について用意がありましたらご説明をお願いします。

加藤福祉課長：その他については特にございません。

委員長：これ以降の進行は事務局をお願いします。

9 次回の会議日程について

加藤福祉課長：次回の会議日程についてですが、次回の会議の開催については、先ほどのスケジュールでもお話しさせていただきましたけれども、9月25日(月)午後2時から開催をしたいと思っております。詳細につきましては後日、ご案内いたしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

10 閉会

加藤福祉課長：長時間になりましたけれども、最後に閉会の挨拶を副委員長の富樫さんをお願いをしたいと思います。

副委員長：皆さん、長時間お疲れ様でした。当事業所の託児所におきましても地域のお子様を含めて19名のお子様をお預かりしております。約半分が0歳児ということになっておりまして、地域のお子様の0歳児も預かっております。多い子におきましては週のうち6日位の保育を希望される親御さんもいらっしゃいまして、この地域における0歳児の需要が本当に多いということがこの会議で改めて考えさせられました。今後2回、皆様で地域の現状について考えて行きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

午後4時24分 終了